目次

指紋センサーをお使いになる方へ（タッチ方式）

はじめに

このたびは弊社の FMV- LIFEBOOK （以降、パソコン本体）をご購入いただき、まことにありがとうございます。
本書は、パソコン本体に搭載されている指紋センサー（以降、本製品）の基本的な取り扱い、ソフトウェアのインストールと削除、およびアプリケーションの設定と使いかたについて説明しています。
ご使用になる前に本書およびパソコン本体のマニュアルをよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2004 年 10 月

本書の表記

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■コマンド入力（キー入力）

CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。
［CD-ROM ドライブ］:¥setup.exe
上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：　「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作
↓
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

指紋センサーをお使いになる方へ（タッチ方式）

また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例：　「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>FMV-830NA/H</td><td colspan="3" rowspan="2">本パソコン／パソコン本体</td></tr>
<tr><td>FMV-830NA/L</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td>Windows XP Professional</td><td rowspan="2">Windows XP</td><td rowspan="3">Windows 注</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td><td>Windows XP Home Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 2000 Professional</td><td colspan="2">Windows 2000</td></tr>
</table>

注：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

使用上のご注意

■本製品使用時のご注意

・本製品に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
・他の指紋認識装置用アプリケーションがインストールされている場合は、そのアプリケーションをアンインストールしてから本製品をご使用ください。
・Secure Login Light は、Windows 2000 Advanced Server には対応しておりません。
・Secure Login Light は、他の認証アプリケーションやリモート機能を有するアプリケーションと同時に使用できない場合があります。

■指紋登録時／照合時のご注意

・指の状態が次のような場合には、指紋の登録が困難になったり、照合率が低下することがあります。
  - 汗や脂が多い
  - 手が荒れたり、極端に乾燥している
  - 指に傷がある、または磨耗して指紋が薄い
  - 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した

  手を洗う、手を拭く、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、登録時や照合時の状況が改善されることがあります。
・指紋の登録や照合を行う場合、センサーに正しく指を置いてください （→ P.44）。指が正しく置かれていないと、指紋の中心がセンサー中央からずれて、指紋を読み取ることが困難になったり、照合率が低下することがあります。

■センサーに関するご注意

・センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬季など乾燥する時期は特にご注意ください。
・センサー部分をひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。傷がつく原因となります。
・本製品を使用中、センサー表面が温かくなることがありますが、故障ではありません。

■センサー表面の清掃について

・次のような場合は指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下することがあります。センサー表面はときどき清掃してください。
  - センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - センサー表面に汗などの水分が付着している
  - センサー表面が結露している
・次のような現象が起きる場合は、センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 指を置いていないのに「初期化中に画像を検出しました」というエラーが表示される
  - 指を離しているのに「指を離してください」の表示が出たままになる
  - 認証画面から「指紋パスワード認証」ウィンドウに切り替えられない
  - 指紋の登録失敗や照合失敗が頻発する
・清掃の際には、乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。

重要

- センサー表面に水などの液体をたらさないでください。また、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

■その他のご注意

・指紋認識技術は完全な本人認識・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品は、パソコン用周辺機器として設計されております。人命に関わる用途、または高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用途で使用される設備、機器、システム等への組み込みは避けてください。
・本製品は、日本国内仕様であり、添付のアプリケーション、ドライバなどは各 OS の日本語版のみ対応しております。
・本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは一切しておりません。なお、お客様の責任において海外に持ち出される場合は、輸出許可証が必要となる場合がありますのでご注意ください。

1 製品の特長

■コンパクト

静電容量式半導体指紋センサーを採用し、小型の設計になっています。

■照合精度

富士通独自の「適応型特徴相関法注 1」により、高い識別率を可能にしました。富士通独自のアルゴリズムにより、照合も高速で行うことができます。また、登録した指紋の画像は一切残らないため、プライバシー保護の面からも安心してお使いになれます。

■すぐに使える簡単アプリケーション

パソコン本体に添付されている CD- ROM には、パスワードを入力する代わりにユーザー自身の指紋で Windows へのログインを行うアプリケーションが収められています。このアプリケーションを使うと、指紋またはパスワードによる Windows へのログインを簡単に管理できるほか、スクリーンロックやレジュームロック機能注 2 の設定が可能になり、本製品を導入したその日から指紋認証による高度なセキュリティ注 3 が実現します。

注 1：指紋の模様に含まれる「端点」や「分岐点」などの特徴点の相対的なつながりを利用して識別精度を飛躍的に高くする方法です。通常、特徴点だけでも十分な認識精度が得られるのに加え、特徴点相互間の相関を計算することで識別能力が高くなると同時に、指紋の歪みや汗に影響を受けずに認識できる利点があります。

注 2：ご使用の環境によってはレジュームロック機能が正しく動作しない場合があります。その場合は、レジュームロック機能をオフにしてご使用ください。
「レジュームロックを指紋認証で解除する」（→ P.32）

注 3：セキュリティの強度は、お使いの OS に依存します。

2 作業の流れ

本製品を使用するまでの流れを簡単に説明します。

1 必要なものを用意します。

・パソコン本体
・ドライバーズディスク（CD-ROM）

2 ドライバをインストールします。

「ドライバをインストールする」（→ P.9）

3 アプリケーションをインストールします。

「アプリケーションをインストールする」（→ P.13）

4 指紋を登録します。

「指紋情報を登録する」（→ P.17）

3 動作環境

本製品をご使用になる前に、次の条件を確認してください。

■ 対応機種／ OS

本製品が内蔵されている FMV-LIFEBOOK ／ Windows XP SP2 日本語版 /Windows 2000 SP4 日本語版

4 インストールを行う

ドライバをインストールする

POINT

- ドライバをインストールする前に、必ず管理者権限を持つユーザでログインしてください。
- BIOS の設定変更は、必ずドライバのインストール後に行ってください。

1 **ドライバーズディスクをセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」の欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]：¥Other¥Fingsensor¥FSTDrv¥DRVsetup.exe

「ファイルの保存場所」が表示されます。

4 **「ファイルを保存するフォルダ」を変更せず、「次へ (N)」をクリックします。**

ファイルがコピーされます。

POINT

- 「上書き確認」が表示された場合は「すべてはい (E)」をクリックします。

5 **「FUJITSU Fingsensor ドライバ セットアップ」が起動したら「次へ (N)」をクリックします。**

「FUJITSU Fingsensor タイプ選択」が表示されます。

6 **「USB タイプ (FS-210U)」を選択し、「次へ (N)」をクリックします。**

「インストールドライバの確認」が表示されます。

7 **「FUJITSU Fingsensor FS-210U」が表示されていることを確認し、「次へ (N)」をクリックします。**

インストールが開始され、「セットアップ ウィザードの完了」が表示されます。

8 **「完了」をクリックします。**

9 **本パソコンを再起動します。**

10 **BIOS セットアップを起動します。**

「FUJITSU」のロゴマークが表示され、画面の下に「< ESC >キー：自己診断画面／< F12 >キー：起動メニュー／< F2 >キー：BIOS セットアップ」と表示されている間に【F2】キーを押します。

BIOS セットアップ画面が表示されます。

11 **「詳細」メニュー→「その他の内蔵デバイス設定」→「指紋センサー」の項目を「使用する」に設定します。**

12 **設定を保存し、BIOS セットアップを終了します。**

「終了」メニュー→「変更を保存して終了する」を選択し、設定を保存します。
本パソコンが再起動します。

■ Windows XP の場合

パソコン本体を再起動すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されます。
手順 13 へ進んでください。

■ Windows 2000 の場合

以上でドライバのインストールは終了です。
手順 19 へ進んでください。

13 **「いいえ、今回は接続しません (T)」を選択し、「次へ (N)」をクリックします。**

14 **「FUJITSU Fingsensor USB」が表示されていることを確認します。**

15 **「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）(I)」を選択し、「次へ (N)」をクリックします。**

16 **「ハードウェアのインストール」が表示されたら、「続行 (C)」をクリックします。**

17 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、「FUJITSU Fingsensor USB」が表示されていることを確認します。**

18 **「完了」をクリックします。**

19 **ドライバーズディスクを取り出します。**

20 **本パソコンを再起動します。**

ドライバの確認を行う

インストールが完了したら、次の手順でドライバが正しくインストールされたか確認してください。

1 **次の操作を行います。**

■ Windows XP の場合

「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。

■ Windows 2000 の場合

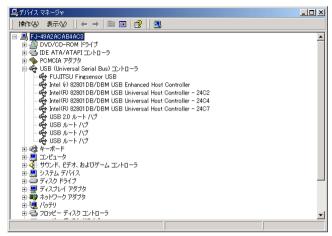
「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。

「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

3 「FUJITSU Fingsensor USB」が表示されていることを確認します。

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」、または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下に表示されます。

（画面は機種や状況により異なります）

次の場合は、BIOS の設定を変更後、ドライバが正しくインストールされていないと考えられます。

・「FUJITSU Fingsensor USB」の前に「！」が表示されている場合

・「FUJITSU Fingsensor USB」ではなく、「USB Device」が表示され、その前に「！」が表示されている場合

■ Windows 2000 の場合

「FUJITSU Fingsensor USB」または「USB Device」をアンインストール後（→ P.12）、再度ドライバのインストールを行うようにしてください（→ P.9）。

■ Windows XP の場合

次の手順に従って、「FUJITSU Fingsensor USB」または「USB Device」と不要なファイルを削除してから、再度ドライバのインストールを行うようにしてください（→ P.9）。

1. 「デバイスマネージャ」で、「！」が表示されている「FUJITSU Fingsensor USB」または「USB Device」を選択し、右クリックします。
2. 表示されるメニューから「削除」をクリックします。
   確認の画面が表示されます。
3. 「OK」をクリックします。
4. 表示されているウィンドウをすべて閉じます。
5. 「スタート」ボタン→「検索」の順にクリックします。
   「検索コンパニオン」が表示されます。
6. 「ファイルとフォルダすべて」をクリックします。

7. 「ファイル名のすべてまたは一部」に「oem*.inf」、「ファイルに含まれる単語または句」に「fdusb1j.inf」を入力し、「探す場所」で「ローカルハードドライブ」を選択します。
8. 「詳細設定オプション」をクリックし、「隠しファイルとフォルダの検索」をチェックして、「検索」をクリックします。
   検索結果が表示されます。
9. 表示されたファイルをすべて選択し、「ファイル」メニュー→「削除」の順にクリックします。
10. 表示されているウィンドウをすべて閉じ、本パソコンを再起動します。

POINT

- 「デバイスマネージャ」で「USB Device」または「その他のデバイス」の下に「fingerprint sensor」が表示される場合は、ドライバのインストールが行われていないことが考えられます。「USB Device」または「fingerprint sensor」を削除した後、ドライバをドライバーズディスクからインストールしてください（→ P.9）。

ドライバのアンインストール方法

1 **「デバイスマネージャ」で削除したいデバイスを選択し、右クリックします。**

2 **表示されるメニューから「削除」をクリックします。**
確認の画面が表示されます。

3 **「OK」をクリックします。**

4 **表示されているウィンドウをすべて閉じ、本パソコンを再起動します。**

POINT

- メッセージが表示された場合は、メッセージに従って本パソコンを再起動してください。

アプリケーションをインストールする

重要

- アプリケーションをインストールする前に、パソコン本体に添付のドライバをインストールしてください。
詳しくは、「ドライバをインストールする」（→ P.9）をご覧ください。

POINT

- インストール前に、必ず管理者権限を持ったユーザーでログインしてください。

1 **ドライバーズディスクをセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」の欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

[CD-ROMドライブ]：¥Other¥Fingsensor¥SLL¥SLLSetup.exe

「Secure Login Light セットアップへようこそ」が表示されます。

4 **「次へ (N)」をクリックします。**

「使用許諾契約」が表示されます。同意する場合には「はい (Y)」をクリックします。
「インストール先の選択」が表示されます。

5 **インストール先を変更せず「次へ (N)」をクリックします。**

「指紋センサーの設定」が表示されます。

6 **「使用する ：FUJITSU Fingsensor FS-210U」を選択し、「次へ (N)」をクリックします。**

「ユーザ情報の登録」が表示されます。

7 **「ユーザー名」、「指紋パスワード」および「指紋パスワードの確認」を入力し、「次へ (N)」をクリックします。**

「デスクトップにショートカットアイコンを追加しますか」が表示されます。

8 **「はい (Y)」もしくは「いいえ (N)」をクリックします。**

「セットアップウィザードの完了」が表示されます。

9 **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。**

アプリケーションのインストールが完了し、コンピュータが再起動します。

10 **ドライバーズディスクを取り出します。**

POINT

- 「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択した場合は、アプリケーションを使う前に必ずコンピュータを再起動してください。

■ FMV-830NA/L をお使いの場合

アプリケーションをインストール後に本ツールを実行してください。
本ツールを実行することで、指紋認識画面を回転させて認識させることができます。

重要

- インストール前に、管理者権限を持つユーザでログインしてください。

1 **ドライバーズディスクをセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」の欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

　[CD-ROM ドライブ]：¥Other¥Fingsensor¥FSAngle¥FPAngle.exe

以上で設定完了です。

4 **ドライバーズディスクを取り出します。**

5 ユーザー情報を登録する

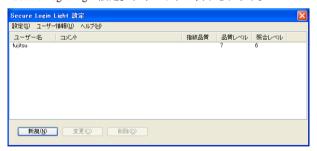
インストールが終了したらアプリケーションを起動し、本人認証に必要な情報を登録します。

ユーザー情報の確認 / 登録を行う

1 「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「Secure Login Light」→「Secure Login Light」をクリックします。

アプリケーションが起動し、「指紋パスワード認証」ウィンドウが表示されます。

2 「指紋パスワード」を入力後、「OK」をクリックします。

「Secure Login Light 設定」ウィンドウが表示されます。

3 「ユーザー名」を選択し、「変更」を選択します。

「指紋パスワード認証」ウィンドウが表示されます。

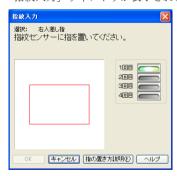
4 「指紋パスワード」を入力後、「OK」をクリックします。

「ユーザー情報設定」ウィンドウが表示されます。

- 「ユーザー名」: 半角英数及び ".、_、-、@、%、$" の中から、1 文字以上 16 文字以内
- 「指紋パスワード」: 半角英数及び ".、_、-、@、%、$" の中から、8 文字以上 32 文字以内
- 「コメント」: 半角英数及び ".、_、-、@、%、$" の中から、32 文字以内
  - JIS 第一水準漢字：0x8140 ～ 0x989E
  - JIS 第二水準漢字：0x989F ～ 0x9FFC、0xE040 ～ 0xEAA4
- 「品質レベル」: 3 ～ 9
  「品質レベルと照合レベルについて」（→ P.27）
- 「照合レベル」: 3 ～ 9
  「品質レベルと照合レベルについて」（→ P.27）

指紋情報を登録する

1 **「ユーザー情報設定」ウィンドウの「指紋の登録/変更」タブをクリックし、登録する指の指先をクリックして、「登録/変更」をクリックします。**

「指紋入力」ウィンドウが表示されます。

2 表示されるメッセージにしたがって、センサーに指を置くと、指紋の読み取りを開始します。

指紋データの作成を知らせるメッセージが表示されます。

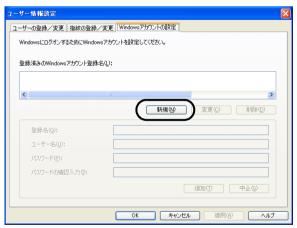
3 「OK」をクリックします。

「ユーザー情報設定」ウィンドウが表示されます。

4 **同様の手順で 2 指目の指紋情報を登録し、「適用」をクリックします。**

Windows アカウントを設定する

Windows ログイン時の指紋認証で、本人と確認された場合に発行される ID とパスワードを設定します。

1 **「ユーザー情報設定」ウィンドウの「Windows アカウントの設定」タブをクリックし、「新規」をクリックします。**

2 **「登録名」、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「追加」をクリックします。**

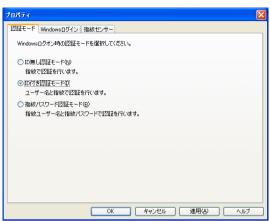
・「登録名」：任意の登録者名を入力します。
　半角英数字 64 文字以内か日本語 32 文字以内で、任意の登録者名を入力します。
・「ユーザー名」：半角英数字 64 文字以内で、Windows ログイン時のユーザーアカウントを入力します。
・「パスワード」：半角英数字 128 文字以内で、Windows ログイン時のパスワードを入力します。

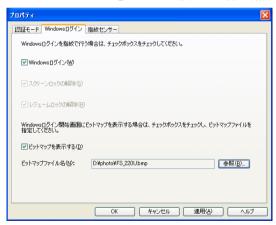
3 **「OK」をクリックして「ユーザー情報設定」を終了します。**

運用モードを設定する

1 **「Secure Login Light 設定」ウィンドウから「設定」→「プロパティ」をクリックします。**

「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「認証モード」タブで認証の方法を選択します。

・「ID 無し認証モード」：センサに指を置くだけの認証方法です。
・「ID 付き認証モード」：ID を入力してセンサに指を置く認証方法です。
・「指紋パスワード認証モード」：指紋認証ではなく指紋に変わるパスワードで認証します。

3 「Windows ログイン」タブで指紋認証を行う機能を選択します。

・「Windows ログイン」：Windows ログインを指紋認証で行います。
・「スクリーンロックの解除」：スクリーンロックの解除を指紋認証で行います。
・「レジュームロックの解除」：レジュームロックの解除を指紋認証で行います。
・「ビットマップを表示する」：Windows ログイン時に表示される認証画面に任意のビットマップデータを貼り付けることが出来ます。参照でファイルを指定してください。

POINT

- 「Windows ログイン」を有効にすると、「スクリーンロックの解除」と「レジュームロックの解除」も有効になります。
  スクリーンロックおよびレジュームロックの設定方法については、以下をご覧ください。
  ・「スクリーンロックを指紋認証で解除する」（→ P.30）
  ・「レジュームロックを指紋認証で解除する」（→ P.32）

4 「指紋センサー」タブで指紋センサーを使用するかどうかを選択します。

通常は「センサーを使用する」を選択してください。

- 「センサーを使用する」：指紋センサーを使用する場合に選択する。
- 「センサーを使用しない」：何らかの理由で指紋センサーが使用出来ない場合に選択します。

6 各種設定画面について

「Secure Login Light 設定」ウィンドウ

登録されているユーザー一覧が表示されます。

■メニュー一覧

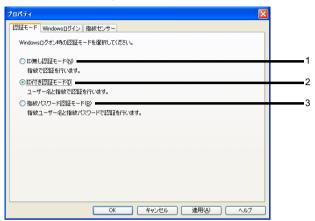
設定	プロパティ	認証モードなどを設定します。
	終了	アプリケーションを終了します。
ユーザー情報	新規	新規にユーザーを追加します。
	変更	登録済のユーザー情報を変更します。
	削除	登録済ユーザー情報を削除します。
ヘルプ	Secure Login Light のヘルプ	ヘルプを表示します。
	Secure Login Light のバージョン情報	バージョンを表示します。

重要

- 登録されているユーザーが一人しかいない場合は削除できません。
  ユーザーは、最大 30 人まで登録できます。

[プロパティ] ウィンドウ

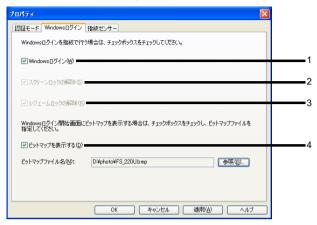
■「認証モード」タブ

照合方法を設定します。

1	ID 無し認証モード	センサに指を置くだけの認証方法です。
2	ID 付き認証モード	ID を入力してセンサに指を置く認証方法です。
3	指紋パスワード認証モード	指紋認証ではなく指紋に変わるパスワードで認証します。

POINT

- 通常は、「ID 無し認証モード」もしくは「ID 付き認証モード」を選択してください。

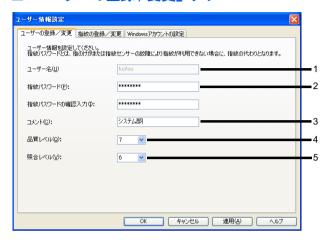
■「Windows ログイン」タブ

「Windows ログイン」、「スクリーンロックの解除」および「レジュームロックの解除」を指紋認証で行うか選択します。

1	Windows ログイン	Windows ログインを指紋認証で行います。
2	スクリーンロックの解除	スクリーンロックの解除を指紋認証で行います。
3	レジュームロックの解除	レジュームロックの解除を指紋認証で行います。
4	ビットマップを表示する	Windows ログイン時に表示される認証画面に任意のビットマップデータを貼り付けることが出来ます。参照でファイルを指定してください。

「指紋センサー」タブ

1	センサーを使用する	指紋センサーを使用する（通常はこれを選択してください）
2	センサーを使用しない	何らかの理由で指紋認識装置が使用出来ない場合に選択します。

「ユーザー情報設定」ウィンドウ

■「ユーザーの登録 / 変更」タブ

重要

- 変更の場合は、本人認証が必要となります。

1	ユーザー名	半角英数及び ".、_、-、@、%、$" の中から、1 文字以上 16 文字以内
2	指紋パスワード	半角英数及び ".、_、-、@、%、$" の中から、8 文字以上 32 文字以内
3	コメント	半角英数及び ".、_、-、@、%、$" の中から、32 文字以内 JIS 第一水準漢字：0x8140 ～ 0x989E JIS 第二水準漢字：0x989F ～ 0x9FFC、0xE040 ～ 0xEAA4
4	品質レベル	3 ～ 9
5	照合レベル	3 ～ 9

重要

- ユーザー情報の新規作成は、管理者権限を持ったユーザーでないと操作できません。

□ 品質レベルと照合レベルについて

「ユーザー登録 / 変更」タブで設定する「品質レベル」と「照合レベル」について説明します。

POINT

- 「品質レベル」と「照合レベル」は、初期値のままで十分なセキュリティを確保できるため、通常は変更する必要はありません。
- 「品質レベル」と「照合レベル」の設定は、入力された指紋のレベルの最低値です。設定値よりも低いレベルで入力された指紋情報はエラーになります。高い値を設定すると、指の状態によっては認証に失敗するユーザーを増加させる原因になります。設定の変更は慎重に行ってください。

品質レベルとは

指紋情報を登録する際に基準となる値です。設定された値より低いレベル（低品質）の指紋情報は登録できません。初期値は「7」です。
「品質レベル」を「8」や「9」に設定すると、ユーザーはより高い品質でしか情報を登録できないようになります。登録する指紋情報はできるだけ高品質で登録することをおすすめします。

POINT

- 品質レベルを高めに設定したために、登録できないユーザーがいる場合は、品質レベルの設定を下げて運用することをおすすめします。

照合レベルとは

指紋情報を認証する時に基準となる値です。設定された値より低いレベル（低品質）の指紋情報は認証できません。
初期値は「6」です。
指紋認証しにくい場合は、「照合レベル」を「6」→「5」に変更すると認証しやすくなります。

POINT

- 登録時の「品質レベル」が「7」のユーザーは、「照合レベル」が「8」や「9」に設定されていると認証しにくくなります。

7 Windows にログインする

これは指紋やパスワードを使用して本人かどうかを認証し、Windows へのログインを行う機能です。

重要

- 本機能を使用するには「プロパティ」ウィンドウで、「Windows ログイン」が有効になっている必要があります。
  「運用モードを設定する」（→ P.20）
- Windows ログインやSecure Login Light起動時に、ファイルを指定して認証を行うこともできます。ファイルを指定して認証するには、以下の手順でユーザー情報の指定を行います。
  1. 認証画面で「ユーザー情報指定ボタン」をクリックします。
  2. ファイル指定ダイアログで「ユーザー情報ファイル (.fpc)」を選択します。
     ユーザー情報指定を解除する場合は、[ユーザー情報指定解除] をクリックします。
  3. 現在の認証モードに合った、認証処理を行います。

指紋による認証を行う

1 パソコンを起動します。

パソコンが起動すると「ログインの開始」ウィンドウが表示されます。

2 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーもしくは、【Enter】キーを押します。

3 指紋登録したいずれかの指を指紋センサーの上にのせます。

指紋の認証が正常に終了すると、Windows にログインします。

POINT

- Windows にログインすることができない場合は、パスワードによる認証をしてください（→ P.28）。
- 指紋の認証が正確に行われるように「指の置き方」を参照してください（→ P.44）。

■パスワードによる認証を行う

指紋認証を行わない場合や、指紋による認証がうまくいかなかった場合は、指紋パスワードを使用して Windows にログインできます。

1 認証画面が表示されたら【F10】キーを押します。

「指紋パスワード認証」ウィンドウが表示されます。

2 「ユーザー名」、「パスワード」、および「ドメイン名」欄に登録済みの情報を入力し、「OK」をクリックします。

ユーザー名およびパスワードが認証されると、Windows へログインします。「ID と指紋で認証」ウィンドウへ戻るには、再度【F10】キーを押します。

POINT

- 設定画面が表示されている時に【F4】キーを押すと、通常の Windows ログイン画面に切り替わります。
  これにより指紋認証を行わずに従来通り Windows の ID とパスワードで認証を行うことができます。

8 スクリーンロックを指紋認証で解除する

「パスワードによる保護」をチェックして、スクリーンセーバーを使用している場合、その解除を指紋で行うことができます。
スクリーンロックは、指定した時間内にキーボードからの入力やマウス操作がない場合、画面がスクリーンセーバーで覆われ、動作が制限される機能です。
「スクリーンロックの解除」は、この状態から元の画面に戻るときに指紋認証を行う機能です。
「スクリーンロックの解除」を指紋認証で行う場合、次の準備が必要です

スクリーンロックを指紋認証で解除するための準備をする

1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「スクリーンセーバー」タブをクリックし、「スクリーンセーバーの種類」、「待ち時間」を設定し、「パスワードによる保護」にチェックを入れ、有効にします。

重要

- スクリーンロックの解除を指紋認証で行うためには「プロパティ」ウィンドウの「Windows ログイン」タブで「スクリーンロックの解除」が有効になっている必要があります。設定方法については、「運用モードを設定する」を参照してください （→ P.20）。
- 「スクリーンセーバー」タブの「パスワードによる保護」をチェックしない場合、スクリーンロックの解除を指紋認証で行うことはできません。

指紋認証で解除する

1 任意のキーを入力またはポインティングデバイスの操作を行います。

2 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押します。

「指紋パスワード認証」ウィンドウが表示されます。

3 指紋登録したいずれかの指を指紋センサーの上にのせます。

POINT

- ログインしたユーザーのみがスクリーンロックを解除できます。

指紋の認証が正常に終了すると、スクリーンロックが解除され、通常の Windows 画面に戻ります。

■パスワードで解除する

指紋認証を行わない場合や指紋による認証がうまくいかなかった場合は、指紋パスワードを使用してスクリーンロックを解除できます。

1. **認証画面が表示されたら【F10】キーを押します。**
   「指紋パスワード認証」ウィンドウが表示されます。

2. **「ユーザー名」、「パスワード」および「ドメイン名」欄に登録済みの情報を入力し、「OK」をクリックします。**
   ユーザー名およびパスワードが認証されると、スクリーンロックを解除され、通常の Windows 画面に戻ります。
   「ID と指紋で認証」ウィンドウへ戻るには、再度【F10】キーを押します。

POINT

- ログインしたユーザーのみがスクリーンロックを解除できます。
- 市販されているスクリーンセーバーの中には、本機能が動作しないものもあります。その場合は、他のスクリーンセーバーや Windows に標準添付されているスクリーンセーバーをご使用ください。

9 レジュームロックを指紋認証で解除する

レジュームロック機能を使用している場合、その解除を指紋で行うことができます。
Windows システムには、作業中のデータを一時的にメモリに保持し、消費電力を抑えるスタンバイと呼ばれる機能があります。
「レジュームロックの解除」とは、スタンバイから元の画面に戻るときに指紋認証を行う機能のことです。
スタンバイ方法はパソコン本体マニュアルをご覧ください。
「レジュームロックの解除」を指紋認証で行う場合、次の準備が必要です。

レジュームロックを指紋認証で解除するための準備をする

1. **デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**
   「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
2. **「スクリーンセーバー」タブをクリックし、「スクリーンセーバーの種類」、「待ち時間」を設定し、「パスワードによる保護」にチェックを入れ、有効にします。**
3. **手順1で「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「電源の管理」または、「電源オプション」をダブルクリックします。**
4. **「詳細」タブをクリックし、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックを入れ、有効にします。**
5. **「OK」をクリックします。**

POINT

- 「休止状態」タブの「休止状態をサポートする」のチェックの有無に関係なく、手順 5 までの設定を行うとレジュームロックの解除は有効になります。
- Windows には、作業中のデータを一時的にメモリに保存し、消費電力を抑える機能があります。レジュームロックの解除は、この状態から元の画面に戻るときに指紋認証を行う機能です。

重要

- レジュームロックの解除を指紋認証で行うためには「プロパティ」ウィンドウの「Windows ログイン」タブで「レジュームロックの解除」が有効になっている必要があります。設定方法については、「運用モードを設定する」を参照してください（→ P.20）。
- ご使用の環境によっては本機能が正しく動作しない場合があります。その場合はレジュームロック機能をオフにしてください。

指紋認証で解除する

1 スタンバイ状態から復帰（レジューム）させます。

レジューム方法は、パソコン本体マニュアルの「機能」－「省電力」をご覧ください。

2 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押します。

3 「ID と指紋で認証」ウィンドウが表示されたら、指紋登録したいずれかの指を指紋センサーの上にのせます。

POINT

- ログインしたユーザーのみがレジュームロックを解除できます。

■パスワードで解除する

指紋認証を行わない場合や指紋による認証がうまくいかなかった場合は、パスワードによる認証が行えます。

1 認証画面が表示されたら、【F10】キーを押します。

「指紋パスワード認証」ウィンドウが表示されます。

2 「ユーザ名」、「パスワード」欄に登録済みの情報を入力し、「OK」をクリックします。

ユーザー名およびパスワードが認証されると、通常の Windows 画面に戻ります。
「ID と指紋で認証」ウィンドウに戻るには、再度【F10】キーを押します。

POINT

- ログインしたユーザーのみがレジュームロックを解除できます。
- パソコンをネットワークで使用している場合、Windows 独自のユーザーID でレジュームロックを解除しようとすると、「ネットワークパスワードの入力」ウィンドウが表示されることがあります。

10 アプリケーションをアンインストールする

本アプリケーションをインストールし直したり、バージョンアップする場合は、まず本アプリケーションをアンインストールしてください。

POINT

- アンインストールの前に管理者権限を持ったユーザーとしてログインしておいてください。
- アンインストールは、できるだけインストールしたユーザーが行ってください。

アンインストールの前に

アンインストールする前に、次の手順で設定を確認してください。

1 「Secure Login Light 設定」ウィンドウで次の項目がオフになっていることを確認します。

・詳しくは「「Windows ログイン」タブ」をご覧ください（→ P.25）。

オンになっている場合はチェックを外し「OK」をクリックしてアプリケーションを終了後、パソコンを必ず再起動してください。再起動を行わないと、設定した内容が有効になりません。

アプリケーションをアンインストールする

「Secure Login Light」をアンインストール（削除）する場合は、次の手順で行います。

1 「プログラムの追加と削除」（または「アプリケーションの追加と削除」）を表示します。

■ Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順にクリックします。

■ Windows 2000 の場合

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順にクリックします。

2 「Secure Login Light」を選択し、「変更と削除」（または、「変更 / 削除」）をクリックします。

この後は、メッセージに従って操作します。

POINT

- 「Secure Login Light」をアンインストールする際に、個別ユーザー情報を削除するかどうかの確認画面で「いいえ」を選択すると、個別ユーザー情報は削除されません。

指紋センサーの利用をやめる場合

1 BIOS セットアップの設定を変更します。

本パソコンを再起動し、BIOS セットアップの「詳細」メニュー→「その他の内蔵デバイス」→「指紋センサー」の項目を「使用しない」に設定します。

11 困ったときは

故障かな？と思う前に

正常に動作しない場合は、次のことを確認してください。どうしても原因がわからないときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」またはご購入元に連絡してください。

症状	対応	参照先
指紋登録時にエラー表示される。	指の置き方が正しいか確認してください。指が正しく置かれていない、または、指を置く方向が毎回ずれていると登録できないことがあります。	P.49
	指が乾燥していませんか。 手を洗う、指に息を吹きかけるなど指がしっとりする程度湿り気を与えることで改善されることがあります。	P.5
	指が濡れていませんか。 乾いたハンカチなどで指の湿り気を拭き取ることで改善されることがあります。	P.5
	センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると読み取れない場合があります。	P.5
	異なる指で再度登録してください。	P.17
指紋照合時にエラー表示される。	指の置き方が正しいか確認してください。指が正しく置かれていないと照合できないことがあります。	P.44
	指が乾燥していませんか。 手を洗ったり、指に息を吹きかけるなど指がしっとりする程度湿り気を与えることで改善されることがあります。	P.5
	指が濡れていませんか。 乾いたハンカチなどで指の湿り気を拭き取ることで改善されることがあります。	P.5
	センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると指紋が読み取れない場合があります。	P.5
	登録したもう片方の指で照合してください。または、【F10】キーを押してパスワードによる認証をしてください。	P.28 P.31 P.33

症状	対応	参照先
アプリケーションがインストールまたはアンインストールできない。	ユーザーの権限を確認してください。管理者権限を持つユーザーのみインストール／アンインストールすることができます。	P.13 P.34
【F10】キーを押しても「パスワード認証」ウィンドウが表示されない。	「指紋認証」ウィンドウが選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、「指紋認証」ウィンドウ内を一度クリックしてから、【F10】キーを押してください。	－
	センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると【F10】キーを押しても「パスワード認証」ウィンドウが表示されないことがあります。その場合は、センサー表面を清掃してください。	P.5
	指紋読み取り中は【F10】キーを押しても「パスワード認証」ウィンドウが表示されないことがあります。	－
指紋認証でログインしたあと、Winodws のパスワード入力画面が表示される。	パスワードを確認してください。指紋登録名に保存されたパスワードと Windows システムに登録しているパスワードが異なると、指紋認証によるログイン後、Windows のパスワード入力画面が表示されます。指紋登録名に保存するパスワードは、必ず Windows システムに登録済みのものにしてください。	－

メッセージ一覧

本製品の使用時に表示されるエラーメッセージについて説明します。

メッセージ	状況	対処
初期化中に画像を検出しました。 指を装置から離してください。	指紋登録または照合時に、指を置いていないのにエラーメッセージが表示される。	センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると正常に読み取りが行われないことがあります。その場合、センサー表面を乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
指紋を読み取っています。 指を置いてください。	指紋登録または照合時に指を置いているのにエラーメッセージが表示されたままになる。	指の置き方が正しいか確認してください。センサー表面に触れている指の面積が小さい場合、指紋の読み取りが正しく行われないことがあります。
再試行してください。再試行してもこの画面が表示される場合は、ポートの設定を確認してください。	レジュームロック解除時にこのメッセージが表示される。	スクリーンロックがかかっている状態でスタンバイすると、レジュームロック解除時にエラーメッセージが表示されることがあります。「再試行」をクリックすると「指紋認証」ウィンドウが表示されます。
操作可能な指紋装置が見つかりません。	BIOS セットアップの設定を変更しているのにこのメッセージが表示される。	ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。【F10】キーを押してパスワードによる認証をしてください。Windows にログイン後、正しくドライバがインストールされているか確認してください。
Secure Login Light を認証するためのパスワードを確認してください。	「Windows ログイン」チェックボックスがオンになっている場合に、指紋認証によるログオンを行うとメッセージが表示される。	ユーザー名、パスワード、ドメイン名を確認してください。Secure Login Light に登録されているものと OS に登録されているものが違っている可能性があります。Windows システムのパスワードを変更した場合は、Secure Login Light に保存されたパスワードにも「Secure Login Light 設定」ウィンドウで設定しなおしてください。

メッセージ	状況	対処
次のデバイスを取り外すには、コントロールパネルの「ハードウェアの追加と削除」を使用して、デバイスを停止してください。	休止状態からレジュームするときにメッセージが表示される。	「OK」をクリックして、パソコン本体をレジュームさせてください。
指紋の中心が赤い枠内に入るように指を置いてください。	指紋の登録または認証時にメッセージが表示される。	メッセージと一緒に対処方法が表示されます。その指示に従って指を置き直してください。
特徴点を抽出できません。		
特徴点が検出できません。		
中心点がずれているか、または検出できません。		

□ Secure Login Light 起動時のエラーメッセージ

Secure Login Light 起動時に表示されるエラーメッセージとその対処方法を説明します。

メッセージ	対処
公開鍵／秘密鍵の生成に失敗しました。Windows をログオフした後、管理者権限で Windows へログオンしてください。	管理者権限を持ったユーザーでログインしてください。
ユーザー情報の読み込みに失敗しました。原因として以下のことが考えられます。 ・ユーザー情報が存在しません。 ・ユーザー情報に不正なファイルを指定しています。 プロパティの設定を確認してください。	ユーザー情報が存在しないか、間違っているまたは壊れている可能性があります。

□ Windows ログイン時のエラーメッセージ

Windows ログイン時に表示されるエラーメッセージとその対処方法を説明します。

メッセージ	対処
指紋センサーを起動できませんでした。このメッセージを閉じた後、【F10】キーを押して指紋パスワードで認証を行ってください。	【F10】キーを押し、ユーザー名とパスワードを入力して認証を行ってください。
Windows アカウントがユーザー情報に登録されていません。このメッセージを閉じた後、【F4】キーを押すと、通常の Windows ログイン画面からログインすることができます。	Windows アカウントがユーザー情報に登録されていません。【F4】キーを押し、通常の Windows ログイン画面で、ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。

□ 指紋登録／照合時のエラーメッセージ

指紋登録／照合時に表示されるエラーメッセージとその対処方法を説明します。

メッセージ	対処
・指紋センサーが指定されていません。 ・指紋センサーが指定されていないため、指紋センサーが使用できません。プロパティを開いて、指紋センサーを指定してください。	指紋センサーが指定されていないと、指紋で認証することができません。お使いの指紋センサーを指定してください。「プロパティ」を選択し、〔指紋センサー〕タブでセンサーを確認してください。
・指紋センサーを起動できませんでした。 ・指紋センサーを起動できませんでした。【F10】キーを押して指紋パスワードで認証を行ってください。	指紋パスワードで認証してください。【F10】キーを押すと、〔指紋パスワード認証〕ダイアログが表示されます。ユーザー名と指紋パスワードを入力し、認証を行ってください。

指紋センサーをお使いになる方へ（タッチ方式）

メッセージ	対処
照合できません。登録されている指紋と一致しません。原因として以下のことが考えられます。 ・指が違っています。 ・指紋が登録されていないユーザーです。 ・指紋だけで認証できるグループに設定されていません。 ・Fingsensor ユーティリティのキャリブレーションが実行されていないか、指対応モード設定と指が合っていません。	・「Secure Login Light 設定」画面から、「ユーザ情報設定」の〔指紋の登録／変更〕タブで指紋情報を登録した指を確認し、再度指紋認証を行ってください。 ・「Secure Login Light 設定」画面の〔設定〕から「プロパティ」の〔認証モード〕タブで、「ID 付き認証モード」を選択し、指紋認証を行ってください。 ・Fingsensor ユーティリティでキャリブレーションを行うと改善される場合もあります。 Fingsensor ユーティリティを起動するには「スタート」→「（すべての）プログラム」→「Fingsensor」→「ユーティリティ」の順にクリックします。 使用方法については、ユーティリティに添付のオンラインマニュアルをご覧ください。
照合できません。登録されている指紋と一致しません。もう一度指を置いてください。	「Secure Login Light 設定」画面から、「ユーザ情報設定」の〔指紋の登録／変更〕タブで指紋情報を登録した指を確認し、再度指紋認証を行ってください。
照合できません。入力されたユーザー名が登録されていないか、もしくは指紋が登録されていないユーザーであることが考えられます。ユーザー名を確認し、指を置いてください。	ユーザー名を確認して、再度指紋認証を行ってください。
指が乾燥しているため、指紋品質が良くありません。もう一度指を置いてください。	指に息を吹きかける等して少し湿らせてください。または、もう少し押し付けてください。
指が湿っているため、指紋品質が良くありません。もう一度指を置いてください。指の位置が（上 / 下 / 左 / 右）にずれています。もう一度指を置いてください。	指が濡れていませんか。指を拭くか、またはもう少し軽く置いてください。指の腹（指紋の中心部）が指紋センサーの中央に来るように置いてください。
作成された指紋データは、特徴量が少ないため、登録することができません。もう一度最初から入力し直してください。	指の状態が悪かったり、採取した 4 回の情報のうち状態の悪いものがあります。もう一度行うか、違う指で登録を行ってください。Fingsensor ユーティリティでキャリブレーションを行うと改善される場合もあります。 Fingsensor ユーティリティを起動するには「スタート」→「（すべての）プログラム」→「Fingsensor」→「ユーティリティ」の順にクリックします。 使用方法については、ユーティリティに添付のオンラインマニュアルをご覧ください。

□ プロパティ設定時のエラーメッセージ

メニューのプロパティで設定したときに表示されるエラーメッセージとその対処方法を説明します。

メッセージ	対処
インポートするファイル名を指定してください。	ビットマップファイルの場所を設定してください。

□ その他のエラーメッセージ

その他のエラーメッセージとその対処方法を説明します。

メッセージ	対処
・ユーザー名が入力されていません。 ・ユーザー名が入力されていません。入力してから、指紋センサーに指を置いてください。	登録されているユーザー名が入力されていないため、指紋認証ができません。 ユーザー名を入力してください。 ユーザー名を入力後、指紋センサーに指を置き、指紋認証してください。
・指紋パスワードに使用できない文字が使われています。 ・指紋パスワードは 8 から 32 文字です。	指紋パスワードに使用できない文字が使われています。または、指紋パスワードが 8 ～ 32 文字の範囲外で設定されています。 指紋パスワードは 8 ～ 32 文字以内の半角の英数字と次の記号のみ使用できます。. _ - ( ) $ % @

□ トラブルシューティング

メッセージ内容を確認し、対処方法に従ってください。

症状	状況 / 対応
Secure Login Light インストール時にエラーが表示され、インストールできない。	**状況** 「本製品以外のログイン認証が有効になっています。設定を無効にしてからインストールを行ってください。」が表示される。 **対処** ログイン認証を行うアプリケーション（他の認証製品やリモートアクセスするアプリケーションなど）を削除、または無効にしてください。
Windows ログイン時に指紋認証でログインしようとしたが、「指紋センサーを起動できませんでした。」とエラーが表示される。	**対処** ・指紋センサーが接続されているか確認してください。 エラーが回避されない場合、以下の操作を行ってください。 ・指紋パスワードで Windows にログインしてください。 【F10】キーを押して〔指紋パスワード認証〕ダイアログを表示し、登録したユーザー名と指紋パスワードで Windows にログインしてください。 ・通常の Windows ログイン ID（ユーザー名）とパスワードでログインしてください。 【F4】キーを押して〔指紋パスワード認証〕ダイアログを表示し、通常の Windows ログイン ID（ユーザー名）とパスワードでログインしてください。
Windows ログイン時に【F4】キーを押して、通常の Windows ログイン画面からログインしようとしたが、エラーが表示されログインできない。	**対処** Secure Login Light に登録したユーザー名と指紋パスワードを入力していませんか。Windows のログイン時に入力するユーザー名とパスワードを入力してください。
【Ctrl】+【Alt】+【Delete】で Windows のパスワードを変更したら、Windows へのログインを指紋で認証できなくなった。	**対処** 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】で Windows のパスワード変更する場合、Windows に指紋認証でログインするユーザーと Windows のパスワードを変更するユーザーが同じでないと、Secure Login Light に登録した Windows ログイン時のパスワードは変更されません。一度ログオフして Windows のパスワードを変更するユーザーのユーザー名でログインし直してから、パスワードの変更を行ってください。

指紋センサーをお使いになる方へ（タッチ方式）

症状	状況 / 対応
指紋登録時にエラーが表示される。	**対処** ・読み取った指紋情報の品質レベルが設定された値以下の場合、エラーが表示されます。再度指紋情報を登録してください。 ・指紋情報を登録したが、登録されていないというエラーが表示される場合、1 本の指の指紋情報しか登録されていません。必ず 2 本の指の指紋情報を登録 / 選択してください。 ・指の置き方が正しいか確認してください。指が正しく置かれていない、または指を置く方向がずれていると登録できないことがあります。 ・指が乾燥していませんか。手を洗う、指に息を吹きかけるなど指がしっとりする程度湿り気を与えることで改善されることがあります。 ・指が濡れていませんか。乾いたハンカチなどで指の湿り気をふき取ることで改善されることがあります。 ・指紋センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると指紋が読み取れない場合があります。 ・異なる指で再度指紋情報を登録してください。 ・Fingsensor ユーティリティでキャリブレーションを行うと、改善される場合があります。 ・Fingsensor ユーティリティを起動するには「スタート」→「(すべての）プログラム」→「Fingsensor」→「ユーティリティ」の順にクリックします。 使用方法については、ユーティリティに添付のオンラインマニュアルをご覧ください。
指紋照合時にエラーが表示される。	**対処** ・指の置き方が正しいか確認してください。指が正しく置かれていない、または指を置く方向がずれていると登録できないことがあります。 ・指が乾燥していませんか。手を洗う、指に息を吹きかけるなど指がしっとりする程度湿り気を与えることで改善されることがあります。 ・指が濡れていませんか。乾いたハンカチなどで指の湿り気をふき取ることで改善されることがあります。 ・指紋センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると指紋が読み取れない場合があります。 ・Fingsensor ユーティリティでキャリブレーションを行うと、改善される場合があります。 ・Fingsensor ユーティリティを起動するには「スタート」→「(すべての）プログラム」→「Fingsensor」→「ユーティリティ」の順にクリックします。 使用方法については、ユーティリティに添付のオンラインマニュアルをご覧ください。 ・異なる指を指紋センサーに置いてください。登録したもう片方の指で照合します。または、【F10】キーをクリックして、指紋パスワードによる認証を行ってください。

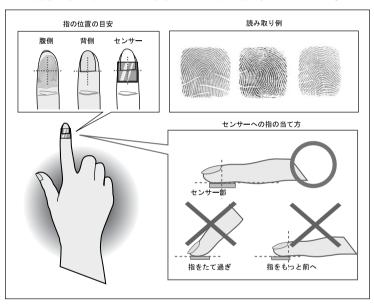
症状	状況 / 対応
Secure Login Light のインストールまたはアンインストールができない。	**対処** ユーザーの権限を確認してください。Administrator 権限を持つユーザーのみインストール／アンインストールすることができます。
登録や照合時にエラーが表示される。	**状況** 登録や照合時に「指紋センサーの起動に失敗しました。」というエラーが表示される。 **対処** デバイスマネジャーで接続されている指紋センサーを確認してください。「Fingerprint USB Sensor」と表示されていたら、他社のセンサドライバがインストールされています。右クリックして「プロパティ」の〔ドライバ〕タブから「ドライバの更新」でドライバを更新してください。
Windows ログインを指紋による認証で行った場合、ログイン画面で指紋に入力画面を表示している最中にスタンバイすると、スタンバイ復帰に時間がかかることがあります。	**対処** しばらく待てば復帰します。急ぎの場合は、【Enter】キーもしくは【Esc】キーを押してください。
Windows ログインを指紋による認証で行った場合、ログオン画面で指紋に入力画面を表示している最中にスタンバイすると、スタンバイ復帰に「指紋センサーに異常が発生しました」と表示されることがあります。	**対処** 【Esc】キーを押して、ログイン画面に戻り、再び【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押してログインしなおしてください。
ログオン時「ログオンメッセージ」にて「ログオンできません。ユーザー名とログオン先を確認して、もう一度パスワードを入力してください。パスワードは大文字と小文字が区別されます。」が表示されることがあります。	**状況** Windows ログオンのパスワードを変更した後、「Secure Login Light」の「Windows アカウントの設定」にてパスワードの変更を行っていません。 **対処** ・ログオン時、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】で指紋認証画面を表示した後、【F4】キーを押し、通常の Windows ログイン ID（ユーザー名）とパスワードでログインしください。 ・ログイン後「Secure Login Light」の「Windows アカウントの設定」を変更してください。（→ P.19）

12 付録

指の置き方

本製品の認識率や照合率の精度を保つため、次の手順に従って指を置いてください。

■指の置き方について

・正しく指紋を読み取らせるため、次の図のように指を置いてください。

ここで表示している指紋イメージはあくまでサンプル（例）です。
実際に指紋センサーで表示される指紋イメージとは異なります。

■その他のご注意

・指紋認識技術は完全な本人認識・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品はパソコン用周辺機器として設計されております。人命に関わる用途、または高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用途で使用される設備、機器、システム等への組み込みは避けてください。

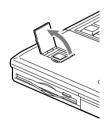
POINT

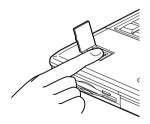
▶ 指紋センサーの位置については、パソコン本体のマニュアルの「各部名称」－「各部の名称と働き」をご覧ください。

1 カバー左側の除電用金具に触れて静電気を除去します。

（イラストは機種や状況により異なります）

2 指紋センサーのカバーを開きます。

指紋センサーのくぼみに指をかけ、静かにカバーを開きます。

3 指紋センサーの上に指を載せます。

カバーを開いたら指を真下に下ろし、指のはら（指紋の中心部）をセンサーにつけます。

POINT

▶ 指を置く位置について「指の位置」を参照してください（→ P.46）。

4 **指紋センサーのカバーを閉じます。**

カバーがしっかり閉じていることを確認してください。

POINT

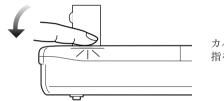
- 指紋センサー使用後は必ずカバーを閉めてください。カバーを開いたまま放置したり、カバーを取り外したりすると、故障の原因となることがあります。
- センサーをクリーニングする際は、除電用金具に触れてからカバーを開き、乾いた柔らかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。

指の位置

次をよく読み、正しい位置に指を置いてください。

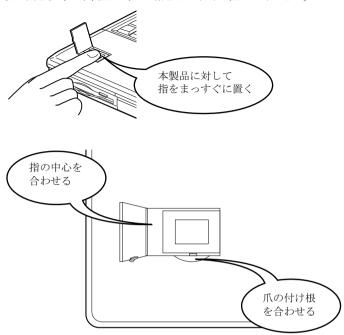
POINT

- 指紋センサーの位置については、パソコン本体のマニュアルの「各部名称」－「各部の名称と働き」をご覧ください。

1 **必ず、指のはら（指紋の中心部）を載せてください。**

カバーが完全に開いたら
指をセンサーに密着させる

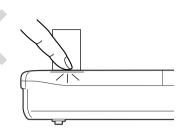
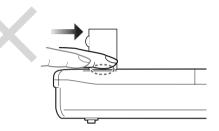
（イラストは機種や状況により異なります）

2 正確な位置に指を置いてください。

次の図を参考に本製品に対して指をまっすぐに置いてください。

指の中心を指紋センサーの中心に合わせて置いてください。爪の付け根を指紋センサーの中心に合わせて置いてください。

指紋センサーをお使いになる方へ（タッチ方式）

重要

- 指を斜めに置いたり、指の一部しかセンサーに触れていないと正確に指紋が読み取れません。

下図のように指を滑らせる状態で読み取りを行うと、指紋が変形して正確に指紋を登録したり、照合したりできない場合があります。

次の「指紋サンプル一覧」は登録がうまく行かないときなどに参考にしてください。正しく読み取られた場合や読み取れなかった場合の指紋のサンプルです。

ここで表示している指紋イメージはあくまでサンプル（例）です。
実際に指紋センサーで表示される指紋イメージとは異なります。